

ぽんぽこ山保育園の活動

ぽんぽこ山保育園（竹川順子園長）の園児（年長組）と先生・保護者の皆さんがこんにゃくづくりに挑戦しました。保育園児は現在 13 名だそうです。今回は年長・年中組の園児が振興センターを訪ねてきてくれました。2月4日、昨年保育園で植えた芋を使って作りました。ミキサーでにゅるにゅるにしたこんにゃくをみんなで丸めてお湯でしばらく煮ると出来上がります。小さな手で上手に丸めていました。出来上がったこんにゃくをみんなで美味しくいただきました。



イノシシの捕獲

どこの地域でも、農家にとっては鳥獣被害が大きな社会問題になっているところです。そんな中 2月4日の早朝、地域の猟師さんが振興センターに来られたので何かと思ったら、軽トラの荷台を見てビックリ。大きなイノシシが横たわっていました。振興センター近くの方が仕掛けていたイノシシ捕獲用の箱罠に体重 100 キロもあろうかというようなイノシシが入っていたのだそうです。オスのイノシシで大きな牙もあり、振興センターのグラウンドへも時々おいでになっていたイノ君のようです。これで、グラウンドでの駆けっこや砂遊びもなくなることを期待しましょう。ありがとうございました。



八幡小学校の閉校について

いよいよ八幡小学校が東城小学校と合併する時期が近づいてきました。八幡小学校閉校記念事業実行委員会（見川浩二委員長）では、閉校記念誌、記念碑の製作等に取り組んでおられます。来月の行政文書で閉校事業について詳しいことをお知らせすることでした。

絵画を展示しました

NPO 法人やわた創生プロジェクトの活動として、昨年の秋に八幡小学校児童、保護者、地域の方々が東城の奥田敏雄画伯を招いて、みんなで水彩画を描いたものを、振興センターの大研修室に掲げてもらいました。毎年実施されている絵画教室です。飯山を描いたこの絵は三枚目になりますが、段々上手に描けてるように思います。子供たちが絵に興味をもって感性豊かな人に成長してくれればと思います。



エドヒガンのポスター製作中

金本地域活性部長が、エドヒガンのポスター製作に取り掛かっています。サンプルを作成して印刷を業者へ発注します。今年は1年生の石田翼さんと森田真華さんが作成したちぎり絵を写真撮影して、パソコンに取り込んで文字や地図を重ねます。最後に色の調整をして完成です。今年の開花時期は4月10日前後になるのでしょうか。コロナで気持ちが暗くなりがちですが桜の満開で気分爽快になりたいものです。



コンニャク芋の頒布について

地域活性部では、コンニャク芋を育てて各行事に使用する計画でしたが、コロナウイルス感染者の拡大によって多くの行事が中止になったことから、コンニャクの生芋を地域の皆さんに無料で提供することにしました。コンニャクを作ってみようと思われる方は振興センターへ連絡してみてください。種芋もありますので、植え付けて大きく育ててから来年の楽しみにされてもいいのではないですか。数に限りがありますので希望者数によって量を調整させていただきます。

2月末までに八幡自治振興センター（4-0205）まで。



今日の一句： 弥生来て 草木やムシが 顔を出し

